

教改発000171号
令和4年(2022年)12月28日

熊本市部活動改革検討委員会 委員長 様

熊本市教育長 遠藤 洋路



市立学校における部活動の今後のあり方について（諮問）

市立学校の部活動において、子どもの多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営を図るための今後のあり方について、貴委員会のご意見を賜りたく、ここに諮問します。

1 諮問事項

市立学校の部活動において、持続可能な運営主体のあり方や地域社会との役割分担、指導者確保等のために必要な事項について

2 諮問理由

部活動の改革について、文部科学省では、中央教育審議会答申及び国会での審議を踏まえ、令和2年(2020年)9月に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を公表し、休日部活動の段階的な地域移行等を推進する方針を示しました。

また、令和4年(2022年)10月には「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)」を公表し、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備に関する方向性を示しました。

本市においても、少子化が進行していく中で、子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりや教職員の働き方改革の推進が急務となっています。

そこで、市立学校の部活動において、子どもの多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営を図るための今後のあり方について、貴委員会の意見を求めるものです。

3 報告を希望する時期

令和6年（2024年）3月頃（中間報告：令和5年（2023年）7月頃）